

陳 情 文 書 表

(令和8年5月19日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第202号(8.5.11) 「神戸市バス37系統のダイヤ再編、運行本数の再検討を求める陳情」
陳情の要旨	1. JR住吉駅行き午前9時台を復活すること。 2. JR甲南山手駅へ往復できるように運行を再検討すること。 3. 37系統Aで住吉駅北停留所まで行けるようにすること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市東灘区 松本公
送付委員会	都市交通委員会

2026年5月~~8~~¹¹日

神戸市議会議長 菅野吉記様

神戸市東灘区

松本公 気付
市民の足を守る東灘区の会
市バス37系統問題深江の会

神戸市東灘区:

電話番号:

松本公 

神戸市バス37~~系~~系統のダイヤ編成、運行本数の再検討を求める陳情

37系統バスが、ダイヤ編成、大幅減便されて、この4月で1年が過ぎました。

当路線を利用している高齢者の声を聞きますと、最も利用したい9時台の便がなくなり、その前の8時台のバスは、足腰が悪いのに立ってしか乗れない状況が続いているとのことで、私もその便にすしづめで乗れないこともありました。

この一年間の「2タッチデータなどの客観的なデータ」はどうなっているのでしょうか？それを知るにはどうすればよいのでしょうか？

私は、「2タッチデータ」だけでは、地域住民の声や利用者の真の声が聴けないと思っています。

この路線は、赤字覚悟で、深江地域住民のためにできたと、先輩から聞いております。これこそが公共交通の役割であると思います。また、高齢者が立って乗ることを前提とした運行は、公共交通の本来の姿ではありません。

ダイヤ編成、減便が実施されて1年になりますので、下記の項目について、ご検討していただけるよう陳情いたします。

陳情項目

- ①JR 住吉駅行きの午前9時台を復活してほしい。
- ②JR 甲南山手駅へ往復できるように運行を再検討してほしい。
- ③37系統Aで住吉駅北停留所まで行けるようにしてほしい。